

画面で見るマニュアル

セキュリティ USB メモリー
ED-V4 シリーズ



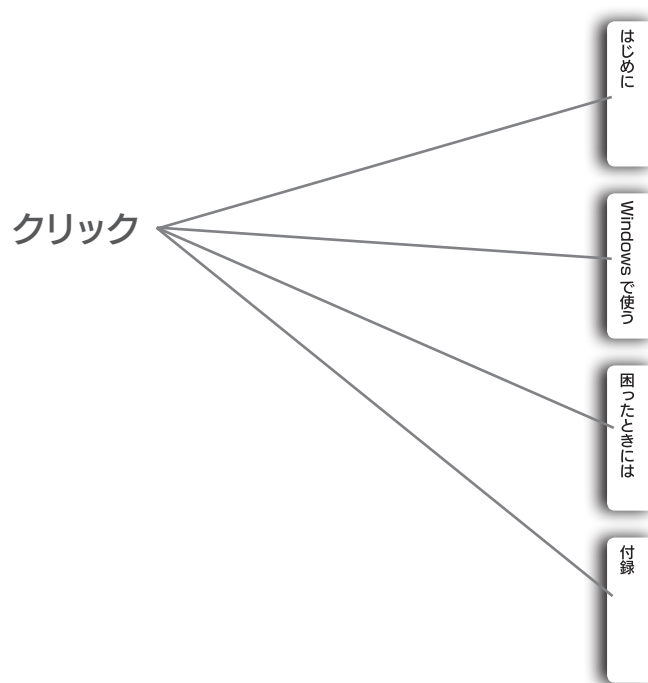
[【マニュアルアンケートはこちら】](#)

よりよいマニュアル作りのためアンケートにご協力願います。

本書について

見出しの操作

ページの端にある見出しをクリックすると、該当のページに移動できます。



マークの説明

ヒント

本製品を使う上で知っておくと便利な情報を記載しています

注意

本製品を使う上での注意事項を記載しています

本マニュアルでの表記

● Windows 編は、Windows 8 の画面で説明しています。

目次

はじめに 4

本製品の特長	4
動作環境・ハードウェア仕様	6
使用上のご注意	8

Windows で使う 10

準備する（初めて使用する場合）

パスワードを設定する	11
------------------	----

使ってみる

ログインする	13
取り外す（ログアウトする）	18

こんなときは

SUGate4 の自動起動を設定する	20
パスワード・ヒントを変更する	22
初期化する	24
自動アップデートチェックの設定をする	27
Trend Micro USB Security™ 2.1 の機能を使う	30

困ったときには 33

よくあるトラブルを確認	33
エラーメッセージ一覧	37

付録 40

「オプションソフトウェア」について	40
バージョン情報の確認	41
アフターサービス	42

はじめに

本製品の特長

■ ログインソフトウェア『SUGate4』 搭載

本製品はログインソフトウェア『SUGate4』を搭載しています。
『SUGate4』には以下の機能があります。

- 「データ保存領域」へのログイン
- 初回起動時のログイン用パスワード、ヒントの設定
- パスワード、ヒントの変更
- パスワード入力連続 100 回ミスでログインを不可能にする
- USB メモリーログイン時にデータ保存領域内の「Autorun.inf」を自動で削除する
- 自動でアップデート可能な最新のソフトウェアがないかチェックする

■ 『Trend Micro USB Security™ 2.1』 搭載

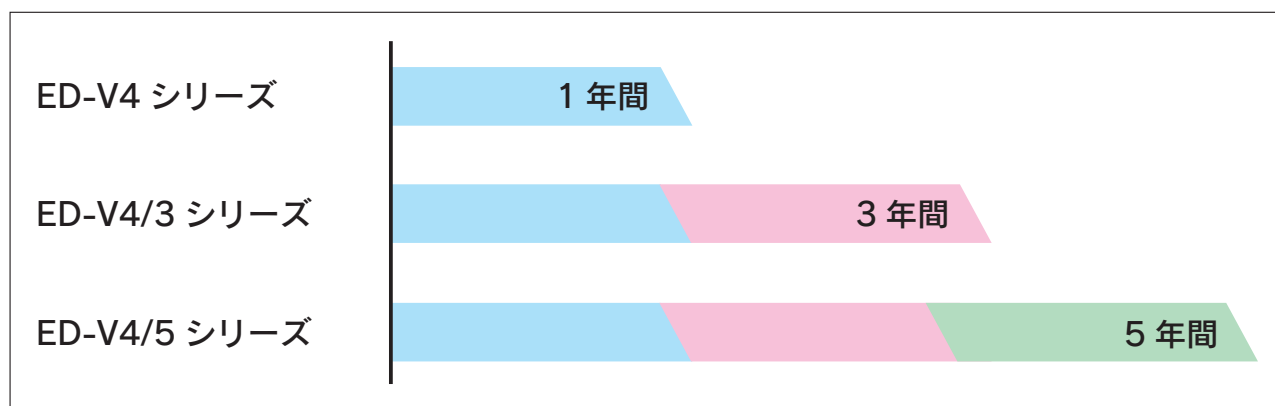
トレンドマイクロ社製ウイルス対策ソフト「Trend Micro USB Security™ 2.1（以下 TMUSB）」を搭載しています。書き込まれるデータをその都度ウイルスチェックすることで、USB メモリー内のウイルス感染を抑止します。

また、ネットワークに接続されたパソコンを利用することで、最新のプログラムやウイルスパターンファイルに自動的に更新します。

※詳細および最新情報は、トレンドマイクロ社のホームページをご確認ください。

●サポートサービスの有効期限について

本製品に搭載されている TMUSB には、アクティベーション後、1 年間、3 年間、5 年間のウイルスパターンファイルのアップデートを含むサポートサービス料金が含まれています。



次年度以降も継続して最新のウイルス対策等のサポートサービスをご希望の場合は、別途 1 年毎に更新ツール（[ED-VL シリーズ](#)：有料）の購入が必要です。

※ TREND MICRO および Trend Micro USB Security™ は、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。

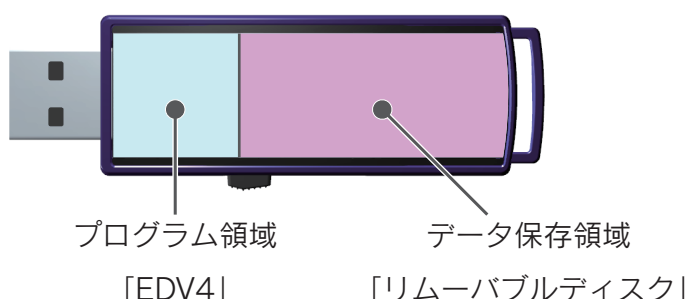
■『自動起動ツール』搭載

自動起動 登録をおこなうと、USB メモリーをパソコンに接続したときに、自動でパスワード入力画面が起動します。

毎回パスワード入力画面を起動する操作が必要なく、手間が省けます。

■ドライブの表示について

●本製品内部のイメージ図



本製品はログイン前とログイン後で、[PC（コンピューター）]に表示されるドライブ名が異なります。

	ログイン前	ログイン後
ドライブ	プログラム領域「EDV4」	データ保存領域「リムーバブルディスク」
説明	データは書き込めません。 本製品を動作させるプログラムが入っています。	通常のUSBメモリーと同様にデータの読み書きができます。
表示	<p>▼ Windows</p>	<p>▼ Windows</p>

はじめに

Windowsで使う

困ったときには

付録

動作環境・ハードウェア仕様

■ 動作環境

対応機種	USBインターフェイスを標準装備したパソコン ※プログラムやウイルスパターンファイルアップデート時にはインターネット接続環境が必要です。
対応OS	<p>Windows 10 (32/64ビット版) Windows 8.1 (32/64ビット版) Windows 8 (32/64ビット版) Windows 7 (32/64ビット版) Windows Server 2012 R2 (64ビット版) Windows Server 2012 (64ビット版) Windows Server 2008 R2 (64ビット版)^{※1} Windows Server 2008 (32/64ビット版)^{※1}</p> <p>※1: Windows ServerのItanium版は非対応です。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>Trend Micro USB Security™ 2.1 の対応OSは、上記とは異なります。 詳細はトレンドマイクロ社のホームページをご確認ください。 http://jp.trendmicro.com/jp/products/enterprise/tmusb/requirements/</p> </div>
USBポート	本製品接続時に1つ必要
空き容量	<p>Trend Micro USB Security™ 2.1 アップデートファイル保存用に256MBの空きが必要 ※パターンサイズは日々増加しているため、上記の容量でもパターンのアップデートに十分でなくなる場合があります。 その場合は十分な空き容量を確保した上でご利用ください。</p>

注 意

- ・ Guest 権限ではご利用いただけません。
- ・ 初期化ソフトウェア「SUReset4」は Windows Server 2012 R2/2012/2008 R2/2008 の場合、管理者権限を持ったローカルユーザーでのみ使用可能です。
- ・ Windows Server 2012 R2/2012/2008 R2/2008 では、初期化ソフトウェア「SUReset4」を起動時に「管理者として実行」の選択が必要な場合があります。
- ・ 各対応アプリケーションの対応 OS は上記とは異なります。
- ・ 2015 年 8 月 21 日時点の情報です。最新情報は弊社ホームページをご覧ください。
<http://www.iodata.jp/>

■ ハードウェア仕様

インターフェイス	USB Specification 3.0 / 2.0 準拠
電源電圧	USBバスパワー / DC +5V
消費電流	400mA(max) 読み書き時
動作環境 / 湿度	0～45℃ / 10～90%（結露しないこと）
外形寸法	約23.5(W) × 58.6(D) × 8.0(H)mm
質量	約10g
取得規格	VCCI Class B、CE、FCC

はじめに

Windowsで使う

困ったときには

付録

使用上のご注意

[定期的にバックアップしてください]

本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。

万一に備え、本製品内に保存された重要なデータについては、必ず定期的に「バックアップ」してください。

本製品または接続製品の保存データの毀損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社が記録内容の修復・復元・複製などを行うこともできません。なお、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても弊社は一切その責任を負いかねます。

バックアップとは

本製品に保存されたデータを守るために、別の記憶媒体（HDD・BD・DVD など）にデータの複製を作成することです。（データを移動させることは「バックアップ」ではありません。同じデータが2か所にあることを「バックアップ」と言います。）

万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えますので安心です。不測の事態に備えるために、必ずバックアップしてください。

[最新のファームウェアをご利用ください]

本製品のハードウェア保証適用のために、ファームウェアまたはソフトウェアは常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。

※本製品は、ご購入時設定でアップデートの自動チェック機能が有効に設定されています。

[ご使用について]

- パスワード入力を連続 100 回間違えた場合は、初期化ソフトウェア「SUReset4」で初期化が必要となります。初期化すると、本製品内のデータはすべて削除されます。
- パスワードを忘れてしまった場合は、パスワード変更できません。初期化ソフトウェア「SUReset4」で初期化が必要となります。初期化すると、本製品内のデータはすべて削除されます。
- 複数台の本製品を、1 台のパソコンに同時に接続し使用することはできません。
- 本製品の読み書き中は、パソコンから本製品を取り外さないでください。故障、データ破壊の原因になります。
- 本製品はあらかじめ FAT ファイルシステムにてフォーマット済みのため、通常フォーマット（初期化）する必要なく、そのままお使いいただけます。
- 本製品は、隣り合う USB ポートの間隔により複数の USB ポートを同時に使用できない場合があります。差し替えてご使用ください。
- 本製品は OS 起動後にパソコン本体に挿してください。本製品をパソコン本体に挿したままパソコンを起動した場合、OS が起動しなかったり、本製品が正常に認識されないことがあります。

- USB ハブに本製品を接続する場合、ご利用の環境によっては、正常に動作しないことがあります。パソコン本体の USB ポートに直接差し込んでください。
- 電力不足となるため、USB インターフェイスを装備したキーボードに本製品を接続してお使いいただけない場合があります。パソコン本体の USB ポートに直接差し込んでください。
- パソコン本体の USB ポートに本製品を接続する際、取り扱いが不便な場合は、USB 延長ケーブルをご利用いただければ、手元で本製品を抜き差しできます。別途市販の USB 延長ケーブル [A プラグ (オス) ⇄ A プラグ (メス)] をご用意ください。なお、本製品を USB 3.0 でお使いいただく場合は、USB 3.0 に対応した USB 延長ケーブルをご用意ください。
- 本製品は、ユーザーの簡易切り替えには対応しておりません。ユーザーを切り替える場合は、本製品をパソコンから取り外してください。
- パソコンをスリープ・休止などの省電力モードにするときは、本製品をパソコンから取り外してからおこなってください。
- デバイスマネージャーにて、本製品の“高パフォーマンス”設定はしないでください。(Windows 8/7 のみ)
- USB ポートに挿しても、まれに認識しない場合があります。いったん抜いてから差し直してください。
- 容量に空きがあるのにファイルを保存できない場合があります。フォルダーを作成して、フォルダー内にファイルを保存してください。
- 本製品からパソコンへのファイルコピー時にはウイルス検出されません。

Windows で使う

準備する（初めて使用する場合）

[パスワードを設定する](#)

[11 ページ](#)

使ってみる

[ログインする](#)

[13 ページ](#)

[取り外す（ログアウトする）](#)

[18 ページ](#)

こんなときは

[SUGate4 の自動起動を設定する](#)

[20 ページ](#)

[パスワード・ヒントを変更する](#)

[22 ページ](#)

[初期化する](#)

[24 ページ](#)

[自動アップデートチェックの設定をする](#)

[27 ページ](#)

[Trend Micro USB SecurityTM 2.1 の機能を使う](#)

[30 ページ](#)

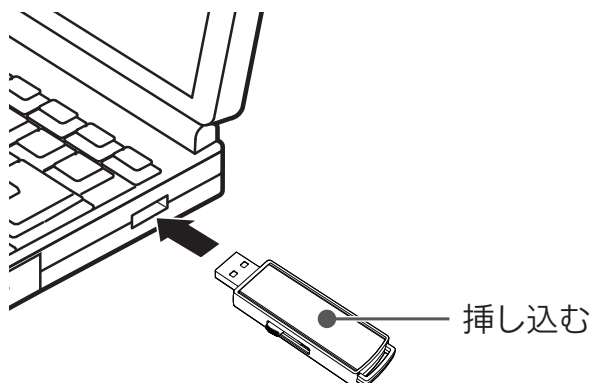
準備する（初めて使用する場合）

パスワードを設定する

本製品を使用するには、最初にパスワードを設定します。

1

本製品をパソコンのUSBポートに挿し込みます。



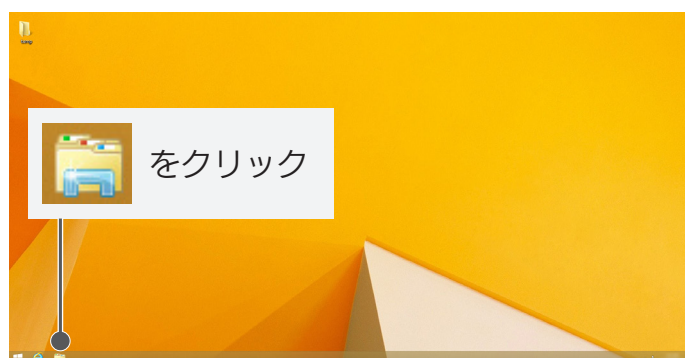
ヒント

本製品を初めて使う場合、Windows が本製品を認識して、自動的に必要なドライバーをインストールします

ドライバーのインストールが終了するまで、SUGate4 での設定、ログインなどはしないでください。

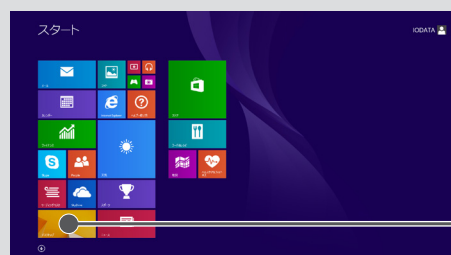
2

エクスプローラーを開きます。



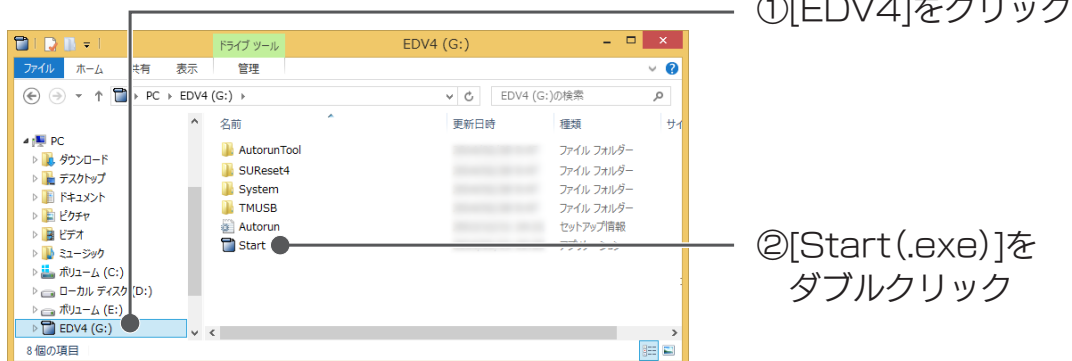
ヒント

Windows 8 でデスクトップ画面を表示する方法

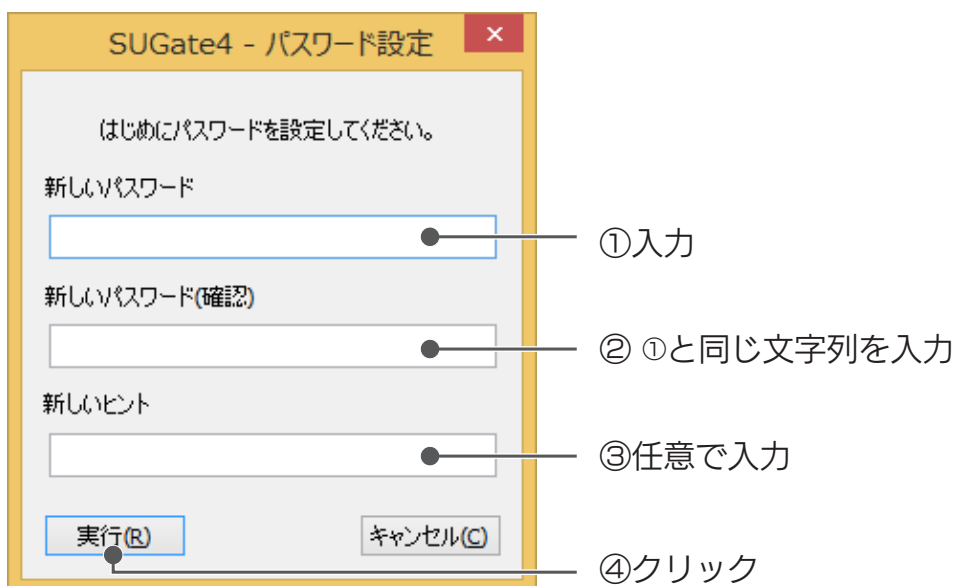


[デスクトップ]をクリック

3 [SUGate4]を開きます。

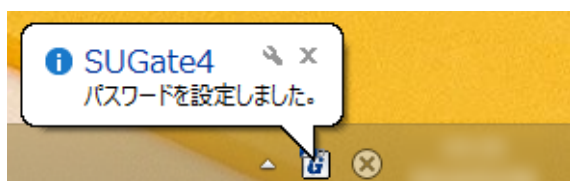


4 パスワードを設定します。



新しいパスワード	ログイン時のパスワードとなる文字列を入力します。(半角英数字と半角記号4～16文字) ※大文字・小文字は区別されます。 ※使用できる半角記号は以下です。 !"#\$%&'()+, -./:;<=>?@[]^_`{ }~
新しいパスワード(確認)	「新しいパスワード」と同じ文字列を入力します。
新しいヒント	任意で、パスワードを入力する際にヒントとなる文字列を入力します。(0～64文字) ※文字数に半角・全角の区別はありません。

5 タスクトレイのSUGate4アイコンに、メッセージが表示されたことを確認します。



以上で、パスワードの設定は完了です。
次に [【ログインする】\(13 ページ\)](#) にお進みください。

使ってみる

ログインする

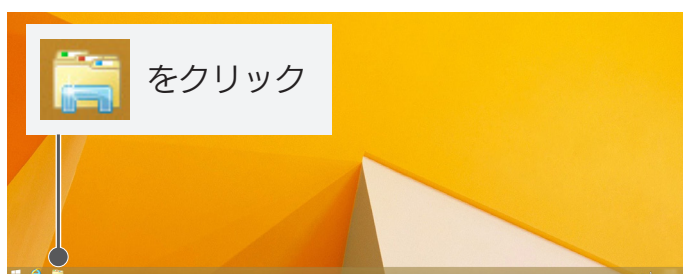
ログインすると、データの読み書きができるようになります。

以下の手順でログインしてください。

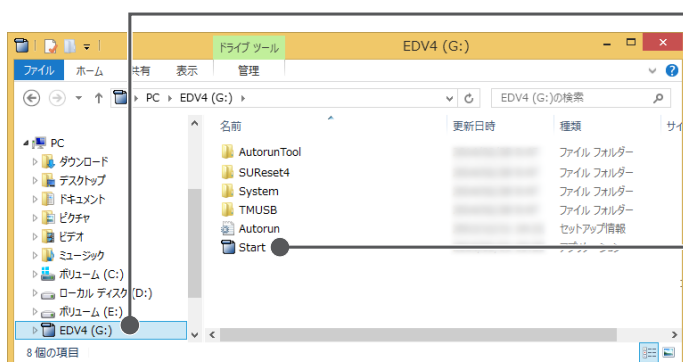
※パスワード設定直後の場合は、手順 4 から始めてください。

1 本製品をパソコンのUSBポートに挿し込みます。

2 エクスプローラーを開きます。



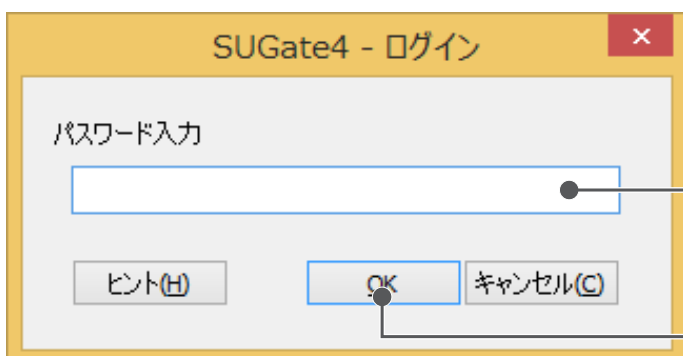
3 [SUGate4]を開きます。



①[EDV4]をクリック

②[Start(.exe)]をダブルクリック

4 パスワードを入力します。



①設定したパスワードを入力

②クリック

ヒント

[ヒント]をクリックすると、ヒントが表示されます

注 意

パスワードの入力ミスについて

パスワードの入力ミスを連続 100 回すると、ログイン不可能となります。
 アクセスするためには、初期化ソフトウェア「SUNReset4」での初期化が必要です。
 ⇒ [【初期化する】\(24 ページ\)](#) 参照
 ※初期化すると、本製品内のデータは全て削除されます。

5

タスクトレイのSUGate4アイコンに、メッセージが表示されたことを確認します。



以上で、ログインは完了です。

続いて、Windows で本製品に初めてログインした場合は、TMUSB のアクティベーション画面が表示されます。次の手順でアクティベーションをおこなってください。アクティベーション後、ウイルスチェックが有効になります。

6

使用許諾契約をよく読み、同意する場合はアクティベーションをおこないます。



①最後まで読む

②同意する場合はチェック

③クリック



クリック

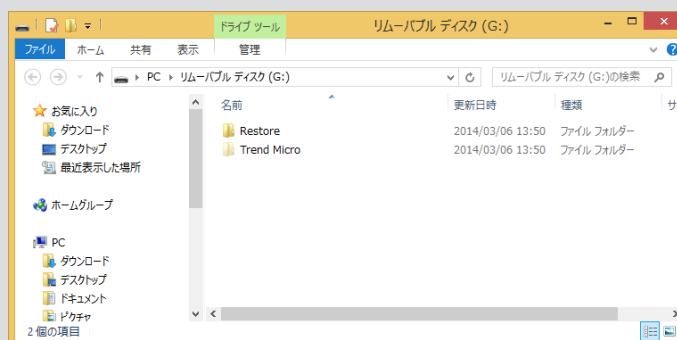
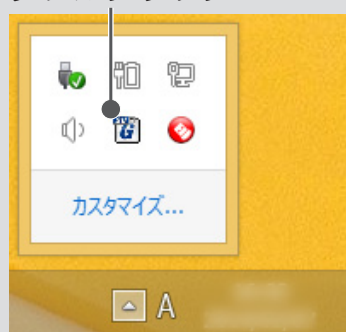
以上で、アクティベーションは完了です。

これで通常の USB メモリーと同じように、本製品に対してデータの読み書きができます。本製品への書き込み時に、ウイルスチェックがおこなわれます。

ヒント

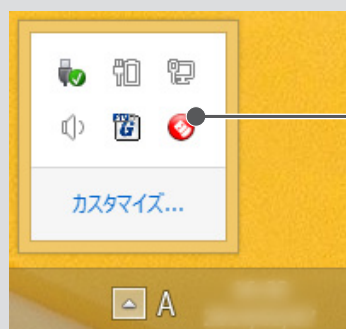
ログイン後に、タスクトレイの SUGate4 アイコンをダブルクリックすると、リムーバブルディスクを表示できます

ダブルクリック



ヒント

ログインすると、タスクトレイに「TMUSB」アイコンが常駐します



アイコン

■ Autorun.inf 自動削除機能について

パスワード認証時に、データ保存領域内をチェックして、「Autorun.inf」があった場合は、削除します。「Autorun.inf」を悪用したオートラン・ウイルスの感染を防止できます。



※ Autorun ウイルスなどの動作を必ず防止できる機能ではありません。

■ ウイルスに感染したファイルの検出について

本製品にコピー中のファイルから、ウイルスに感染したファイルが見つかったと以下の画面が表示されます。

ウイルスに感染したファイルは本製品の専用フォルダーに隔離されます。

ファイルを確認し、削除または復元をおこなってください。



○隔離ファイルを表示するには

上記画面の [ここをクリックすると] をクリック、または TMUSB アイコンを右クリック → [隔離結果を表示] をクリックします。



○削除する場合

ファイルを選択し、「削除」をクリックします。

⇒ファイルは完全に削除され、復元できません。

注 意

隔離されたファイルを削除せずに、ウイルスのみを駆除することはできません

○復元する場合

ファイルを選択し、「復元」をクリックします。

⇒本製品の "Restore" フォルダーの中に復元されたファイルが保存されます。

取り外す（ログアウトする）

パソコンの電源が入っている状態で取り外す場合は、以下の手順で取り外し（ログアウト）をおこなってください。

※パソコンの電源を切ってから取り外す場合は、以下の手順は不要です。

注 意

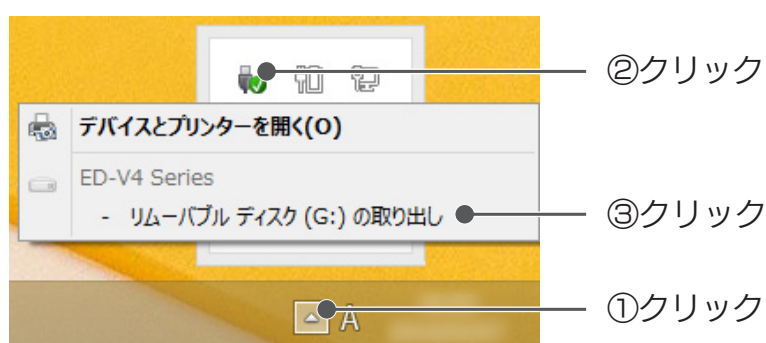
- **本製品の読み書き中（アクセスランプ：点滅）は、パソコンから本製品を取り外さないでください**

データの消失や故障の原因となります。

- **USB メモリーにログインした状態でスリープ・休止をおこなった場合、実行中のファイルが失われたり、異常終了する可能性があります**

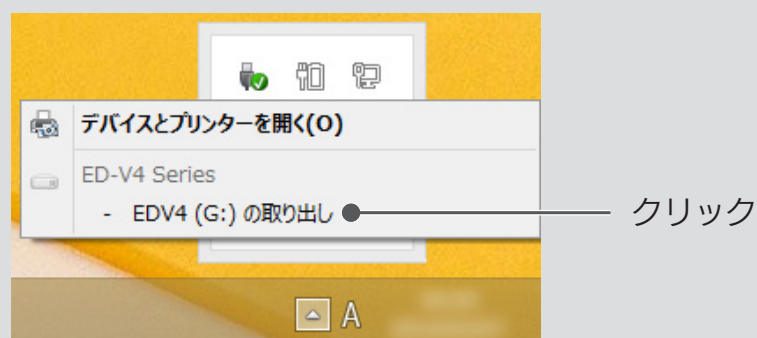
本製品を取り外してから、スリープ・休止をおこなってください。

1 ハードウェアの安全な取り外しをします。

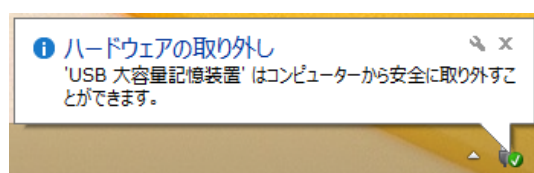


ヒント

ログイン前は表示が異なります

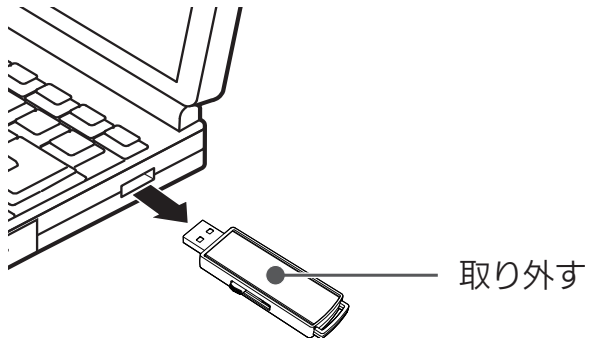


2 メッセージを確認します。



3

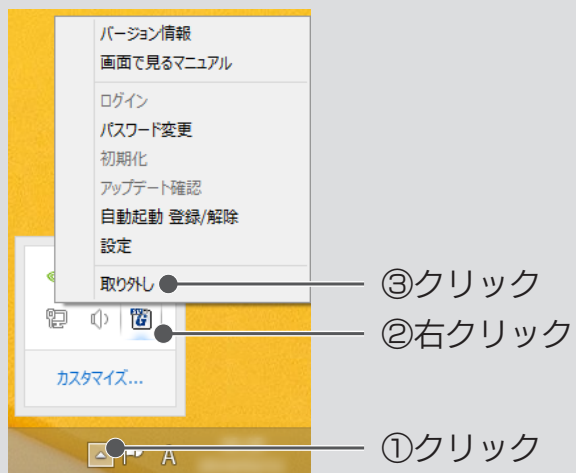
アクセスランプが点滅していない
もしくは消灯していることを確認し、取り外します。



以上で、USB メモリーの取り外しは完了です。

ヒント

SUGate4 アイコンからも取り外しできます

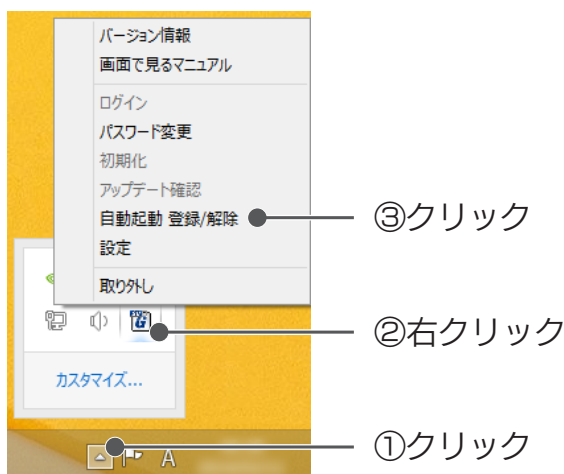


こんなときは

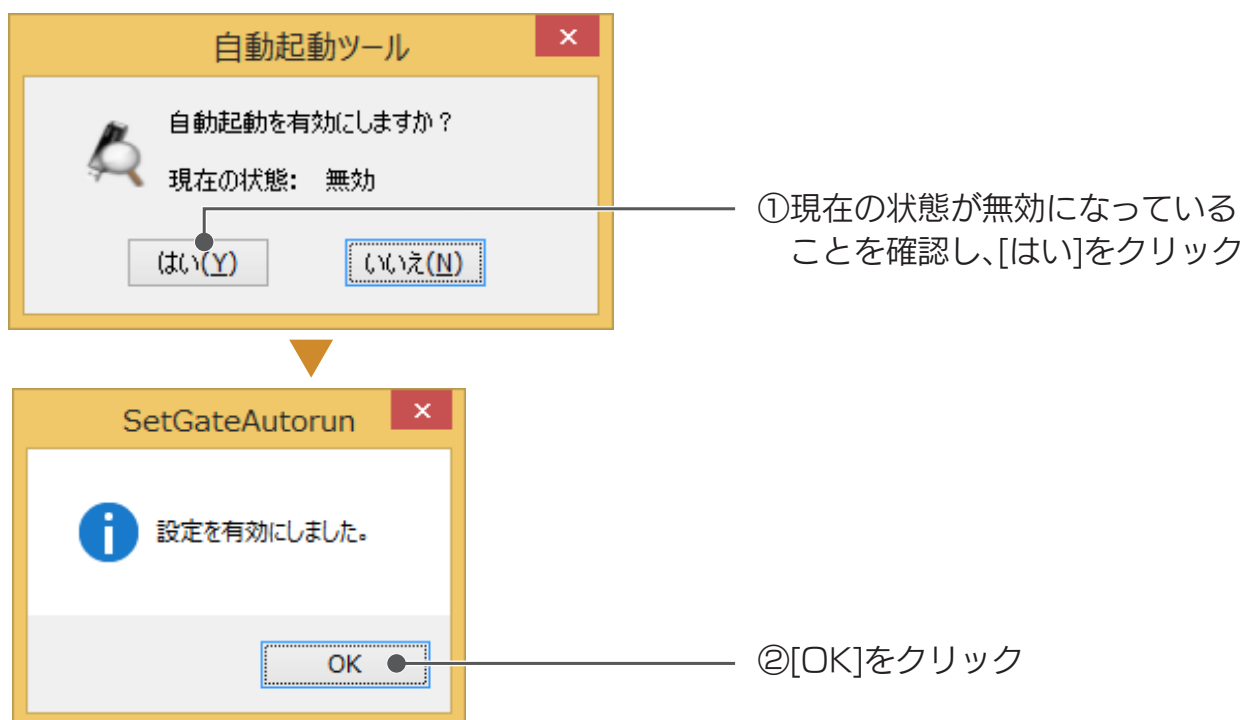
SUGate4 の自動起動を設定する

自動起動ツールを [有効] にすると、本製品をパソコンに挿したとき、SUGate4（ログインソフトウェア）が自動で起動します。毎回 SUGate4 を起動する操作が必要なく、手間が省けます。

- 1 SUGate4のメニューから[自動起動 登録/解除]をクリックします。



- 2 [有効]にします。



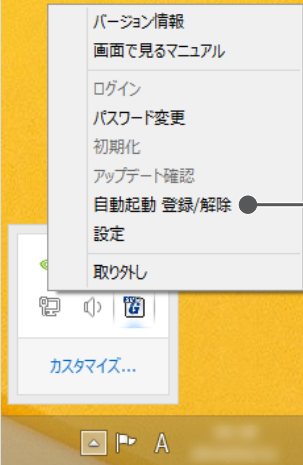
以上で、SUGate4 の自動起動は設定されました。

ヒント**本設定はパソコンに記憶されます**

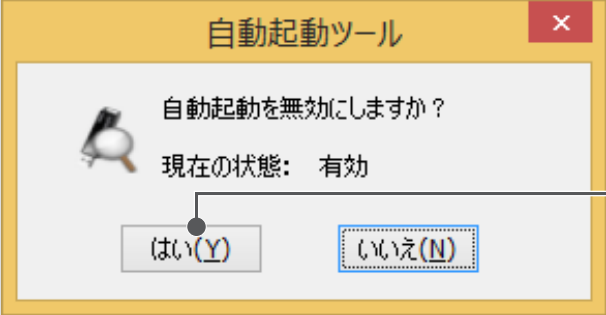
本製品を別のユーザーアカウントや別のパソコンで使用する場合は、個別で設定が必要です。

ヒント**無効にする場合**

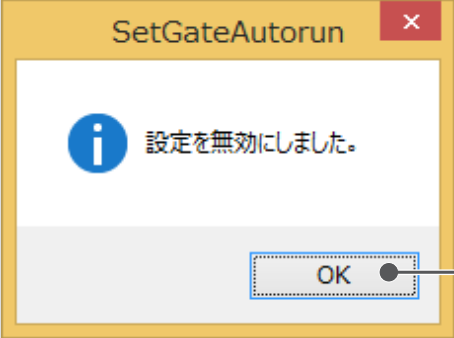
以下の手順で無効にできます。



①クリック



②現在の状態が有効になっていることを確認し、[はい]をクリック



③[OK]をクリック

パスワード・ヒントを変更する

注 意

パスワードを忘れてしまった場合、以下の手順でパスワードを変更できません

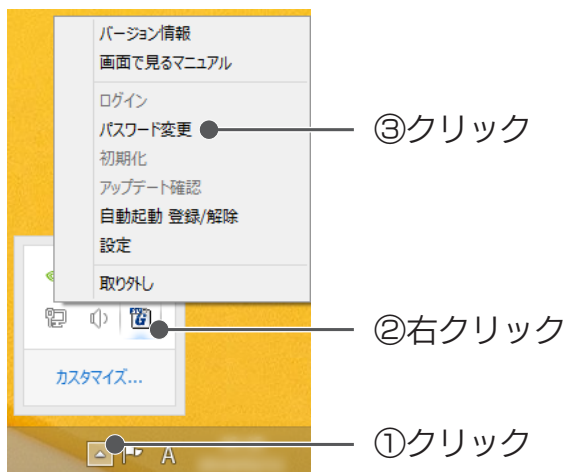
初期化ソフトウェア「SUReset4」で初期化が必要となります。

⇒ [【初期化する】\(24 ページ\)](#) 参照

※初期化をおこなうと、本製品内に保存したデータは全て削除されます。

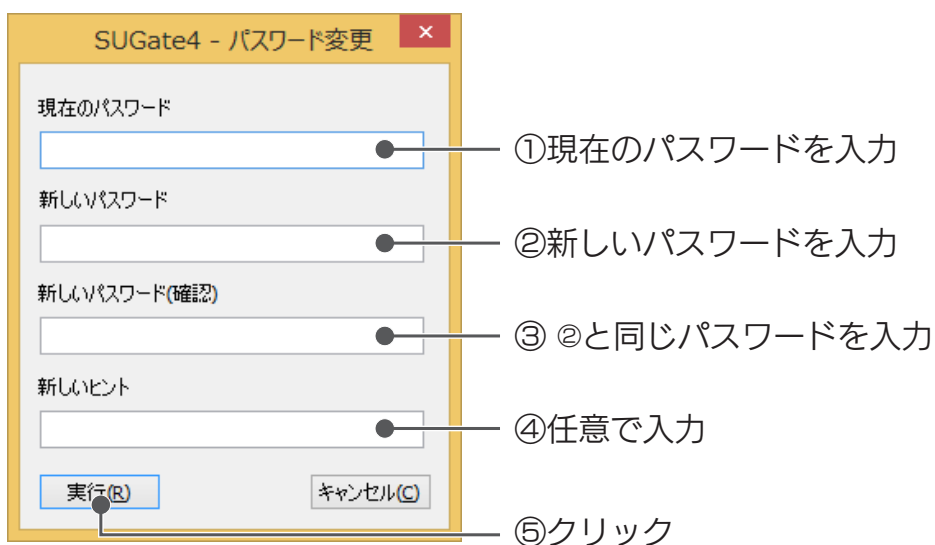
1

SUGate4のメニューから[パスワードの変更]をクリックします。



2

以下を入力します。



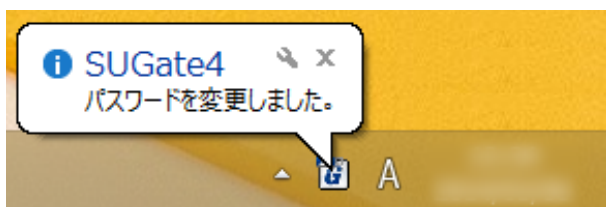
現在のパスワード	現在設定しているパスワードを入力します。
新しいパスワード	ログイン時のパスワードとなる文字列を入力します。(半角英数字と半角記号4～16文字) ※大文字・小文字は区別されます。 ※使用できる半角記号は以下です。 !"#\$%&'()+,-./:;<=>?@[^_`{ }~
新しいパスワード(確認)	「新しいパスワード」と同じ文字列を入力します。
新しいヒント	任意で、パスワードを入力する際にヒントとなる文字列を入力します。(0～64文字) ※文字数に半角・全角の区別はありません。

ヒント**ヒントのみ変更したいとき**

[新しいパスワード]に[現在のパスワード]と同じ文字列を入力してください。

3

タスクトレイのSUGate4アイコンに、メッセージが表示されたことを確認します。



以上で、パスワード・ヒントの変更は完了です。

初期化する

パスワード入力を連続 100 回間違えた場合や、パスワードを忘れてしまった場合は、初期化をおこなう必要があります。

注 意

- 初期化をおこなうと、本製品に保存したデータは全て削除されます
- 初期化後、パスワードおよびヒントの再設定が必要です

1

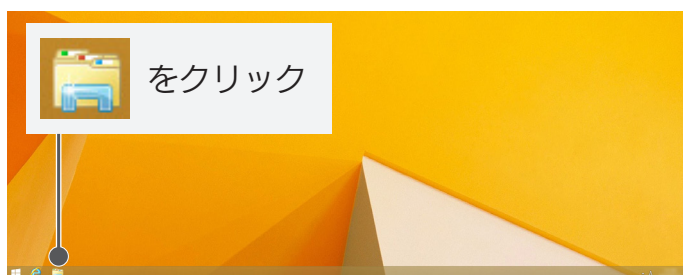
本製品をパソコンのUSBポートに挿し込みます。

ヒント

本製品は 1 本だけ接続してください
本製品を複数接続した場合、実行できません。

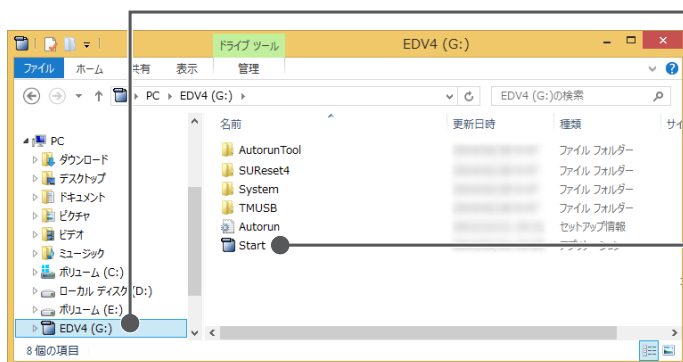
2

エクスプローラーを開きます。



3

[SUGate4]を開きます。

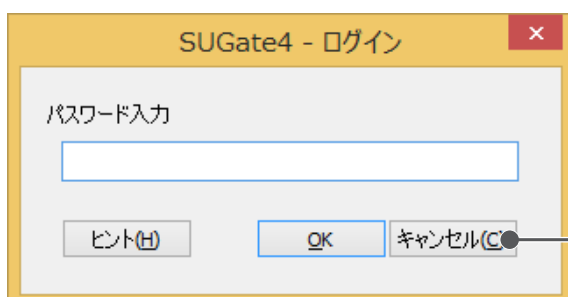


①[EDV4]をクリック

②[Start(.exe)]を
ダブルクリック

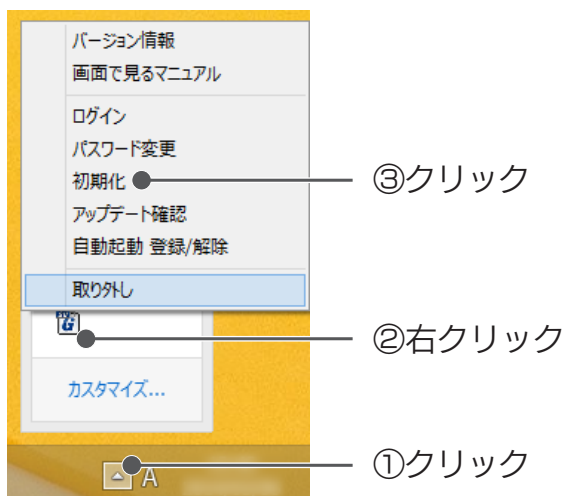
4

ログイン画面で[キャンセル]をクリックします。



をクリック

5 SUGate4のメニューから[初期化]をクリックします。



ヒント

Windows Server 2012 R2/2012/2008 R2/2008 環境で、
管理者権限を持っていても、「SUReset4」が起動できない場合

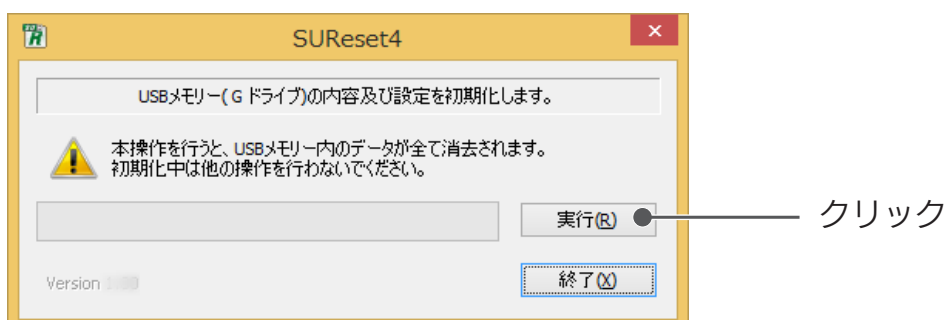
以下の手順で初期化をおこなってください。

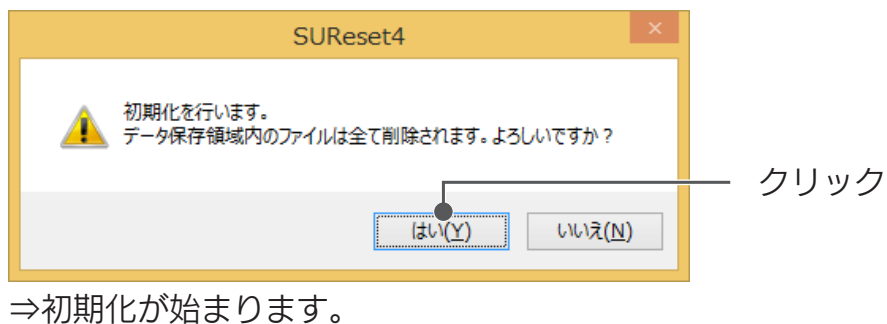
- 1) 本製品のプログラム領域にある「SUReset4」フォルダーを任意の場所（デスクトップなど）にコピーします。
- 2) 本製品をいったん取り外します。
- 3) コピーしたフォルダー内の「SUReset4(.exe)」を右クリックして「管理者として実行」を選択します。
- 4) SUReset4 が起動したら、本製品を接続して初期化をおこなってください。

6 初期化します。

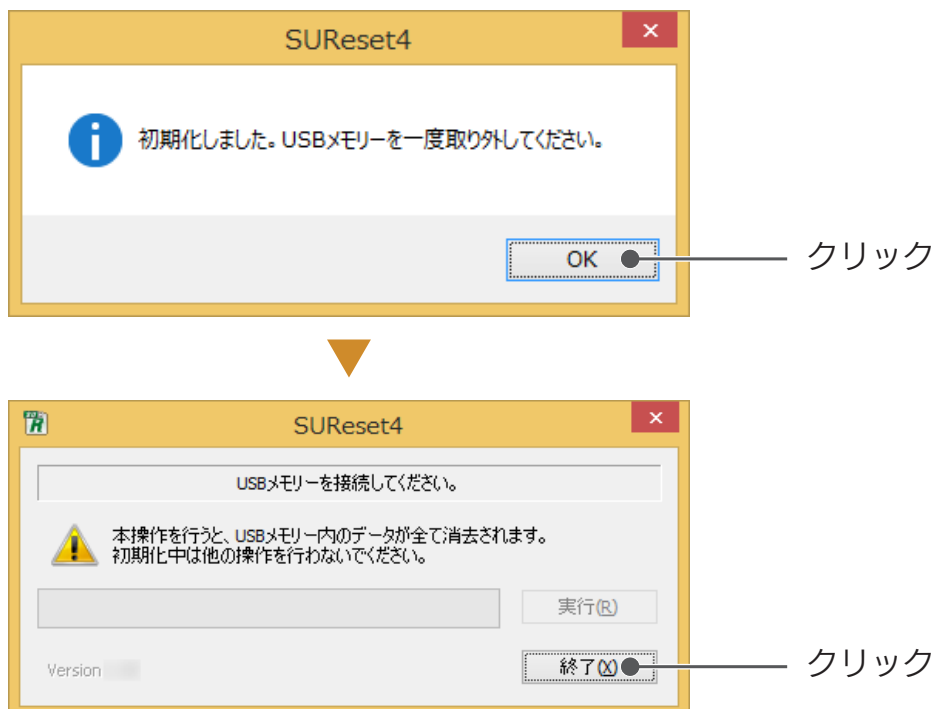
注意

- 初期化中は本製品を取り外したり、他の操作をおこなわないでください
- SUReset4 が起動したら、以下に注意してください
 - ・「プログラム領域を表示している画面」を閉じる
 - ・「画面で見るマニュアル」を閉じる（メニューやプログラム領域から開いている場合）





7 初期化終了後、画面を閉じます。



⇒初期化後、本製品は自動的に取り外し処理されます。
本製品をパソコンから取り外してください。

ヒント

本製品を使用する場合は、パソコンに挿しなおした後、パスワードの再設定が必要です

⇒ [【パスワードを設定する】\(11 ページ\)](#) 参照

以上で、USBメモリーの初期化は完了です。

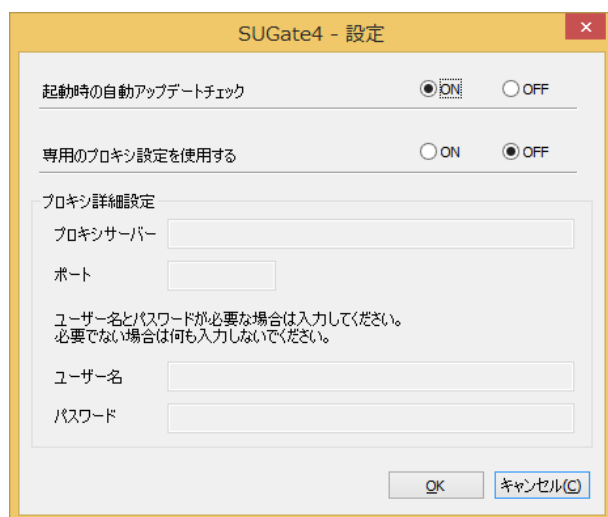
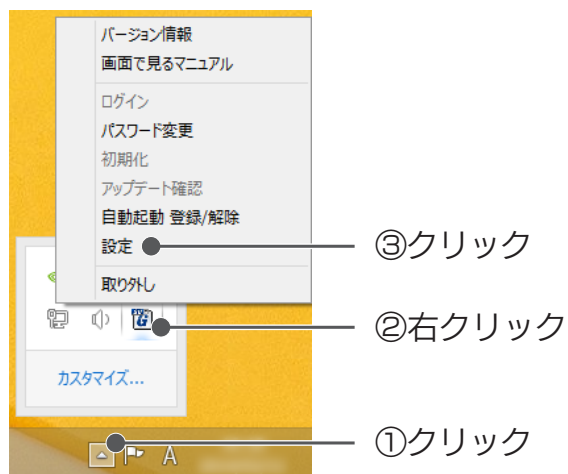
自動アップデートチェックの設定をする

本製品にはアップデート可能な最新のソフトウェアがないかチェックする機能があります。
ご購入時設定で ON になっています。

設定を OFF にしたい場合、またはチェックするときのプロキシを設定したい場合は、以下の手順で設定してください。

1 本製品にログインします。
※ログイン手順は[【ログインする】\(13ページ\)](#)をご覧ください。

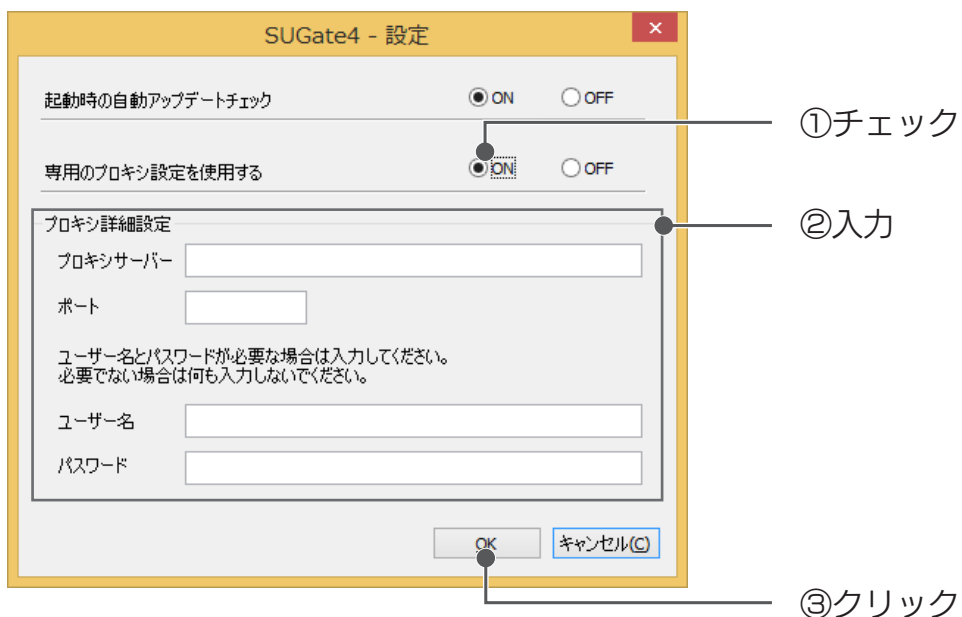
2 SUGate4のメニューから[設定]をクリックします。



起動時のアップデート チェック	ON: SUGate4起動時にアップデートを自動でチェックします。 OFF: SUGate4起動時にアップデートをチェックをしません。
専用のプロキシ設定を使用する	ON: 専用のプロキシ設定を使用します。 OFF: 専用のプロキシ設定を使用しません。

■ 専用のプロキシ設定を使用する場合

プロキシ設定が必要な場合は、以下を設定します。



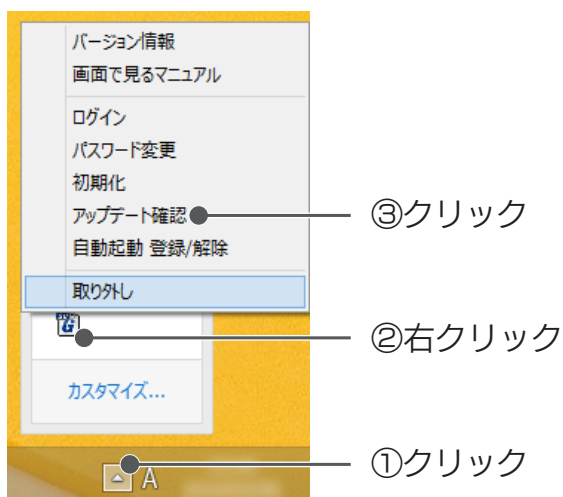
プロキシサーバー	プロキシサーバーのアドレスを入力します。
ポート	プロキシサーバーのポートを入力します。
ユーザー名	必要に応じて、プロキシにアクセスする際のユーザー名を入力します。
パスワード	必要に応じて、プロキシにアクセスする際のパスワードを入力します。

※設定する内容については、ネットワーク管理者にご確認ください。

■ 手動でアップデートを確認する

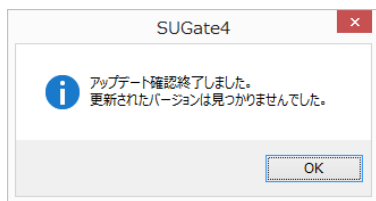
ログイン前であれば、手動でアップデートを確認することができます。

※インターネットに接続されている必要があります。



⇒表示されるメッセージにしたがって進めてください。

アップデートファイルが見つからない場合



左の画面が表示されます。
ご利用のソフトウェアが最新です。

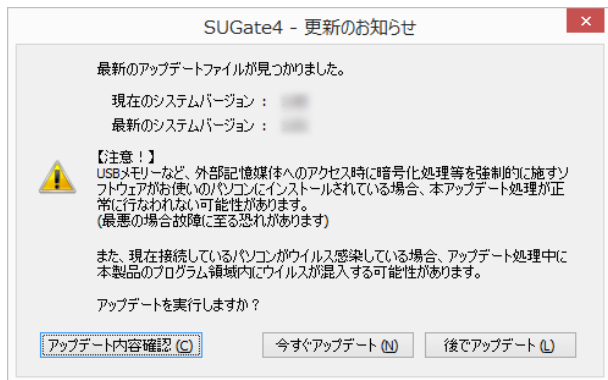
アップデートファイルが見つかった場合

注 意

アップデートする場合、あらかじめ不要なアプリケーションを終了してください。
アップデート実行中は、他の操作をしないでください。

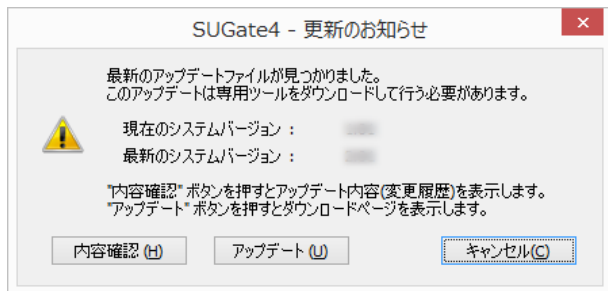
アップデートファイルが見つかった場合、以下の画面が表示されます。
※アップデートには、専用のツールが必要になる場合があります。

▼専用のツールが不要な場合



アップデート内容確認	ブラウザーを起動し、アップデート内容(更新履歴)を表示します。
今すぐアップデート	アップデートを開始します。
後でアップデート	アップデートをおこないません。

▼専用のツールが必要な場合



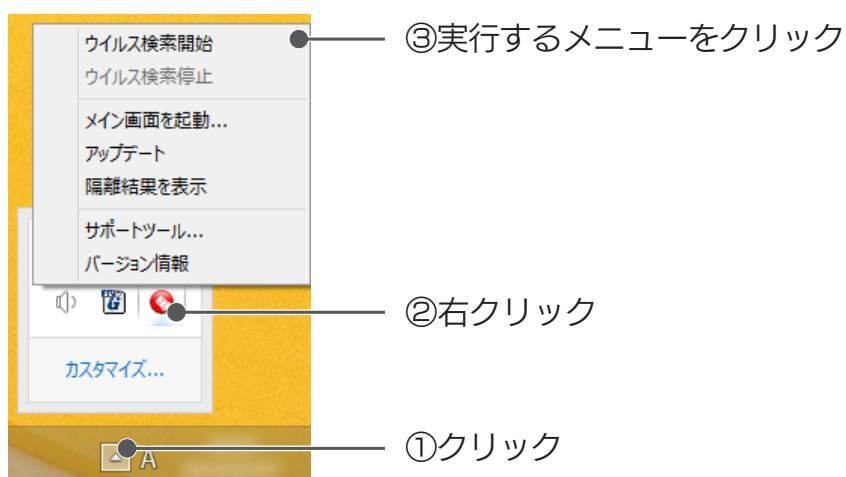
内容確認	ブラウザーを起動し、アップデート内容(更新履歴)を表示します。
アップデート	ブラウザーを起動し、アップデートツールのダウンロードページを表示します。ダウンロードしたツール内の手順に従って進めてください。
キャンセル	アップデートをおこないません。

Trend Micro USB Security™ 2.1 の機能を使う

Trend Micro USB Security™ 2.1 の各種設定方法を説明します。
必要に応じておこなってください。

1 本製品にログインします。
※ログイン手順は[【ログインする】\(13ページ\)](#)をご覧ください。

2 TMUSBのメニューを開きます。



ウイルス検索開始	本製品内のデータをウイルス検索します。
ウイルス検索停止	ウイルス検索を停止します。
メイン画面を起動	「Trend Micro USB Security™ 2.1」メニュー画面を起動します。
アップデート	最新のパターンファイルにアップデートします。
隔離結果を表示	隔離されているファイルの一覧を表示します。
サポートツール	発生した問題の情報を収集、表示します。
バージョン情報	バージョン情報を表示します。

■ メイン画面を起動

以下の画面が表示されます。

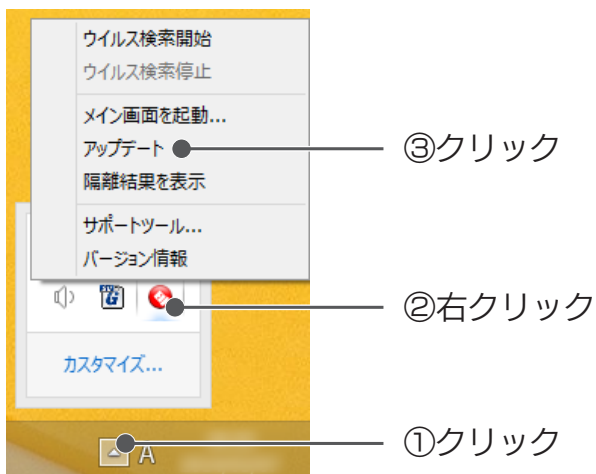


■ アップデート

通常はログイン時に自動的にアップデートされます。

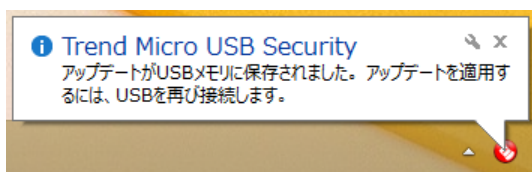
手動でアップデートをおこなう場合は、下記手順でおこないます。

※インターネットへの接続が必要です。



⇒アップデートが見つかり、自動でアップデートします。

完了後に以下のメッセージが表示されます。



■ 遠隔結果を表示

表示されたリストから、ファイルの復元・削除ができます。

詳しくは [【ウイルスに感染したファイルの検出について】\(17 ページ\)](#) をご覧ください。

■ サポートツール

TMUSB 利用中に発生した問題についての情報を収集します。



■ バージョン情報

ウイルスパターンファイルのバージョンやアクティベーションの有効期限について表示します。



困ったときには

本製品を使用していてトラブルがあった場合にご覧ください。

よくあるトラブルを確認

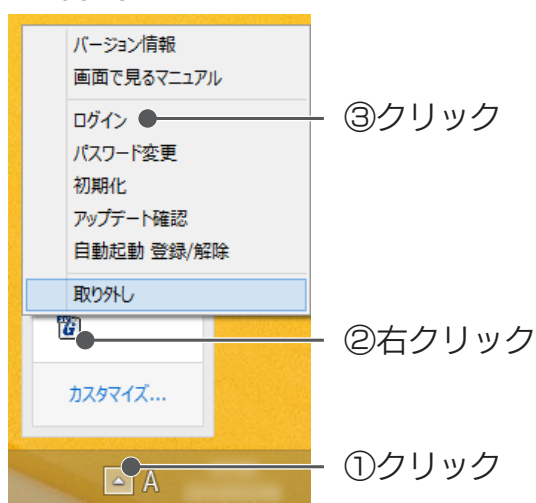
SUGate4を起動しても、パスワード設定画面やログイン画面が表示されない

対処

タスクトレイにSUGate4アイコンが表示されている場合は、メニューから画面を表示してください。

例) ログイン画面を表示する

▼Windows



USBメモリーがログインされている旨の警告画面が表示された



原因

データ保存領域にログインしたままWindowsをログオフしようとした。

対処

[OK]、または[キャンセル]ボタンをクリックし、本製品を取り外してから再度ログオフ(サインアウト)を実行してください。

データ保存領域にログインした状態で スリープ・休止を行った場合、実行中のファイルが失われたり、異常終了する可能性があります。

原因 データ保存領域にログインした状態でスリープ・休止をすると、使用中であってもデータ保存領域からのログアウトとUSBメモリの取り外しがおこなわれるため。
(ただしパソコンの状態によっては取り外しがおこなわれない場合がある。)

対処 USBメモリを取り外してから、スリープ・休止をおこなってください。

容量に空きがあるのに、ファイルが保存できない。

原因 OSの仕様上、ルートディレクトリに作成できるファイル/フォルダーの数に制限がある。

対処 フォルダを作成して、そのフォルダ内にファイルを保存してください。

「保護の有効期限がまもなく切れます」とメッセージが表示された



原因 Trend Micro USB Security™ 2.1のサポートサービス期間はアクティベーションをおこなった日より1年版製品の場合は「1年間」、3年版製品の場合は「3年間」、5年版製品の場合は「5年間」である。
サポートサービス期間終了直前の一ヶ月間は、サポートサービス期限をお知らせするメッセージが表示される。

対処 期間終了後もサポートサービスを継続使用される場合は、画面の指示に従って、サポートサービス契約の更新手続きをおこなってください。

アップデートが実行されない

対 処

以下の点を確認してください。

1. Trend Micro USB Security™ 2.1のサポートサービス期間が終了していないか。
2. インターネット接続されているか。
3. インターネットへの接続にプロキシ設定が必要か。

取り外しに失敗する

対 処

使用中のソフトウェアを全て終了してから、もう一度取り外しをおこなってください。
それでも取り外しできない場合は、パソコンの電源を切ってから、本製品を取り外してください。

アップデート中に何らかのエラーが発生しました。
プログラムの更新が…(以下、略)

原 因

予期せぬファイルアクセス等により、プログラム領域のエンジンアップデート処理に問題が発生した。

対 処

ウイルス対策されたインターネットに接続されている安全なPC環境に本製品を接続し、SUGate4を起動してください。

ログイン時に、「対応OSに関する警告」のメッセージが表示された。

原 因

Trend Micro USB Security™が正常に動作するか不明な環境に接続されている。

対 処

Trend Micro USB Security™の対応OSで利用してください。
([【動作環境・ハードウェア仕様】\(6ページ\)](#) 参照)

USBメモリーが認識されない。
または、SUGate4の起動に失敗する。

- 対処 1** USBメモリーをUSBポートに挿しても認識しない場合や、SUGate4の起動に失敗する場合は、一度取り外してから挿し直してみてください。
- 対処 2** USBメモリーを接続後、数分時間を置いてからSUGate4を起動してください。
- 対処 3** OSを再起動してから、USBメモリーを接続してSUGate4を起動してください。
- 対処 4** USBハブをお使いの場合は、USBハブを経由せず、直接本体に接続して、SUGate4を起動してください。
- 対処 5** パソコン本体に複数USBポートをもっている場合、別のポートに差し替えて、SUGate4を起動してください。
- 対処 6** 本製品以外のUSB機器や、カードリーダーなどリムーバブルディスクと認識される機器を取り外してから、SUGate4を起動してください。
- 対処 7** ネットワークドライブのドライブ文字と本製品のドライブ文字が重複していないか確認してください。
本製品を接続すると、[コンピューター] (または[PC]) に「EDS4」等と記載されたリムーバブルディスクを示すアイコンが1つ表示されます。
このとき、リムーバブルディスクに割り当てられる新しいドライブ文字がネットワークドライブなど他のドライブと重なってしまうと、USBメモリーが正常認識されない現象が発生することがあります。
この場合は、「ディスクの管理」の画面より、本製品のドライブ文字を変更した後、SUGate4を起動してください。
- 対処 8** 常駐プログラムが影響を与えていないか確認してください。
常駐プログラムを以下の手順で停止することで影響の有無を確認できる場合があります。
確認する場合、元の状態に戻せるように必ずメモをしながら実施してください。
- ▼Windows 8の場合
- ① マウスを画面右上にポイントし、チャームを表示し、[検索]をクリック
 - ② 検索ボックスに[msconfig]を入力し、表示された[msconfig.exe]をクリック
 - ③ [スタートアップ]タブをクリックし、[タスクマネージャを開く]をクリック
 - ④ Microsoft Corporationに属するもの以外の項目の選択し、[無効にする]をクリック
 - ⑤ 画面を閉じ、パソコンを再起動
- ▼Windows 7の場合
- ① [スタート]-[すべてのプログラム]-[アクセサリ]-[ファイル名を指定して実行]をクリック
 - ② [名前]欄に[msconfig]と入力し[OK]をクリック
 - ③ [スタートアップ]タブをクリックし、Microsoft Corporationに属するもの以外の項目のチェックを外し、「適用」をクリック
 - ④ [OK]をクリックし「再起動」をクリック

エラーメッセージ一覧

本製品を使用中にエラーメッセージが表示された場合は、以下をご確認ください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対処
A000	パスワードが不正です。	ログイン・パスワード変更時に入力したパスワードが間違っている。	正しいパスワードを入力してください。
A002	残り 1 回のパスワード認証に失敗した場合、データ保存領域へのアクセス及びパスワード変更ができなくなり、初期化が必要になります。	パスワード入力 / パスワード変更を連続 4 回ミスした。 対象USBメモリーがパスワード入力 / パスワード変更を後 1 回ミスすると、SUReset4 による初期化が必要となる。	正しいパスワードを入力してください。
A008	システムバージョン情報の読み込みに失敗しました。	USBメモリーが取り外される等の要因で、USBメモリーから情報を取得できなかった。	USBメモリーを取り外し、再度接続してください。 その後、ログイン操作をおこなってください。
A009	USBメモリーがログインした状態で接続されています。 安全の為、USBメモリーを取り外してからログオフを行ってください。	データ保存領域にログインしたまま、Windowsのログオフをした。	本製品を取り外してからWindowsのログオフをおこなってください。
A011	パスワードは最低4文字必要です。	パスワード設定/変更時に3文字以下のパスワードを入力した。	パスワードは4～16文字に設定してください。
A012	「新しいパスワード(確認)」が一致しません。	パスワード設定/変更時に「新しいパスワード」と「新しいパスワード(確認)」が同じ文字列ではない。	「新しいパスワード」と「新しいパスワード(確認)」には同じ文字列を入力してください。
A016	パスワードのミス回数の累積が制限値を越えたため、ログイン/パスワード変更ができません。 初期化を行ってください。	パスワード入力を連続 100 回ミスした。	SUReset4 で初期化をおこなってください。 (【初期化する】(24ページ) 参照)
A018	パスワードの設定に失敗しました。	初回起動時のパスワード設定で何らかの問題が発生した。	USBメモリーを取り外し、再度接続してください。 その後、ログイン操作をおこなってください。(【パスワードを設定する】(11ページ) 参照)
A026	複数本の対象USBメモリーが接続されています。 ご使用になるUSBメモリーのみを接続し、SUGate4を再起動してください。	セキュアUSBメモリーがパソコンに複数接続されている。	使用するUSBメモリーのみをPCに接続し、SUGate4を起動してください。
A027	対象USBメモリーを発見できません。 USBメモリーを一旦取り外し、再度接続してください。	接続したUSBメモリーがOSに正しく認識されていないため、SUGate4の認識処理に失敗した。	USBメモリーを初回接続した時の場合、OSの認識に時間がかかる場合があります。数分時間を置いてから、SUGate4を再び起動してください。 上記以外の場合や問題が改善しない場合、 【USBメモリーが認識されない。または、SUGate4の起動に失敗する。】(36ページ) の対処内容を確認してください。
A028	Guestアカウントでは本ソフトウェアはご使用できません。	Guestアカウントで動作させた。	管理者 (Administrator) 権限またはユーザー権限でご使用ください。
A029	SUGate4はStart.exeから起動してください。	SUGate4.exeを直接起動した。	Start.exeから起動してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対処
A030	お使いのOSではこのUSBメモリーを利用できません。	SUGate4の対応外OSで起動した。	SUGate4の対応OSで使用してください。 (【動作環境・ハードウェア仕様】(6ページ) 参照)
A031	USBメモリーがログインした状態で接続されています。 安全のため、取り外してからスタンバイ・休止を行ってください。	データ保存領域にログインした状態でWindowsをスタンバイ・休止状態にした。	USBメモリーを取り外してから、スタンバイ・休止をおこなってください。
A032	本ソフトウェアはUSBメモリーのプログラム領域から起動してください。	プログラム領域のシステムデータをデスクトップ等にコピーして実行した。	USBメモリー上からSUGate4を起動してください。 (【パスワードを設定する】(11ページ) 、 【ログインする】(13ページ) 参照)
A036	USBメモリーにアクセスしているアプリケーションがあるため、ログインに失敗しました。	ログイン前のUSBメモリーにアクセスしているアプリケーションが見つかったので、安全のためログインを中止した。	USBメモリーにアクセスしている可能性のあるアプリケーションを全て終了してからログインを行ってください。
A037	SUReset4の起動に失敗しました。	SUReset4の起動時に何らかの問題が発生した。	USBメモリーを取り外し、再度接続してください。 その後、SUReset4の起動をおこなってください。
A038	自動起動ツールの起動に失敗しました。	自動起動ツールの起動時に何らかの問題が発生した。	USBメモリーを取り外し、再度接続してから、プログラム領域内のAutorunToolフォルダ内にあるSetGateAutorun.exeを直接実行してください。
A043	データ保存領域のドライブにアクセスできません。	ログイン直後に何らかの原因でデータ保存領域にアクセスできなかった。	常駐ソフトを確認して解除、あるいは削除をするなどして、パソコンの処理速度の改善をおこなってください。
A044	Autorun.infファイルの削除に失敗しました。	ログイン直後に何らかの原因でAutorun.infファイルの削除に失敗した。	常駐ソフトを確認して解除、あるいは削除をおこなってください。 データ保存領域が書き込み禁止状態の場合、一旦解除した後にAutorun.infファイルを削除してください。
A050 - xxxx xxxx	アップデートサーバーへの接続に失敗しました。 (xxxxxxxはエラーを示す数値)	インターネットに接続されていない、または、ネットワークの設定(ファイアウォール・プロキシ等)により、当社のWebサーバーへの接続に失敗した。	ブラウザでWebを閲覧出来る環境(HTTP通信できる環境)でアップデートをおこなってください。
A051 - xx	TMUSBの起動に失敗しました。 USBメモリーを取り外してください。 (xxはエラーを示す数値)	何らかの原因でTrend Micro USB Security(TM)の起動に失敗した。	USBメモリーを取り外し、再度接続してください。 その後、ログイン操作をおこなってください。 (【取り外す(ログアウトする)】(18ページ) 、 【ログインする】(13ページ) 参照) それでも正常に動作しない場合は、初期化をしてください。 (【初期化する】(24ページ) 参照)
A063	設定情報の読み込みに失敗しました。	設定画面を開くとき何らかの問題が発生した。	再度設定画面を開いてください。 問題が改善しない場合は一度USBメモリーを取り外し、再度接続してから試してください。
A064	設定情報の書き込みに失敗しました。 設定された情報は正常に記録されていない可能性があります。	設定情報を書き込むとき何らかの問題が発生した。	再度設定画面を開いて設定を保存してください。 問題が改善しない場合は一度USBメモリーを取り外し、再度接続してから試してください。
B002	SUGate4が動作した状態でSUReset4を起動しました。	SUGate4が起動した状態で、直接SUReset4を起動した。	一度全てのUSBメモリーを取り外してから 【初期化する】(24ページ) に記載された手順に従って初期化をおこなってください。
B003	Guestアカウントでは本ソフトウェアはご利用いただけません。	Guestアカウントで動作させた。	管理者またはユーザーアカウント(一部OS除く)権限にて動作させてください。
B004	管理者アカウントで実行してください。	管理者権限が必要なOSでSUReset4を起動した。	管理者権限でSUReset4を起動してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対処
B008	USBメモリーは1つのみ接続してください。	SUReset4の対象USBメモリーが2本以上接続されている。	SUReset4による初期化をおこなう場合は必ず1本のみ接続してください。
B009	接続されたUSBメモリーは対応外のUSBメモリーです。 このSUReset4では初期化できません。	接続されたUSBメモリーが対応外のUSBメモリーである。	SUReset4で初期化できないUSBメモリーが接続されています。
B010	接続されたUSBメモリーはこのSUReset4では初期化できません。 プログラム領域に保存されたSUReset4を利用してください。	接続されたUSBメモリーが対応外のUSBメモリーである。	プログラム領域に保存されたSUReset4を利用してください。 (【初期化する】(24ページ)参照)
B013	ドライブレターを正しく取得できませんでした。 SUReset4を一度終了して、再起動した状態でデバイスを接続してください。	デバイスの認識処理中に何らかの問題が発生した。	本製品を取り外し、SUReset4を起動した後、本製品を接続してください。
B014	お使いのOSでは本ソフトウェアはご利用いただけません。	対応外のOSでSUReset4を起動した。	対応OSで動作させてください。 (【動作環境・ハードウェア仕様】(6ページ)参照)
B015	USBメモリーが取り外されました。	初期化中に何らかの問題が発生した。	本製品を取り外し、再度接続してください その後、SUReset4にて初期化をおこなってください。
B016	USBメモリーログの保存に失敗しました。	デバイスの認識状態に何らかの問題が発生した。	本製品を取り外し、再度接続してください その後、SUReset4にて初期化をおこなってください。

「オプションソフトウェア」について

USB メモリーの使い方を広げるオプションソフトウェアをご用意しております。

※ Windows のみご利用いただけます。

【無料ダウンロード】QuickSecureAES

インストール不要で、ファイルをドラッグ&ドロップするだけで手軽に暗号化できます。
より強固なセキュリティ環境を作ることができます。

【有料販売】セキュリティUSBメモリー廃棄ツール(型番:ED-HAIKI)

USB メモリーのデータを完全に消去し、再ログインが不可能な状態にできます。
廃棄時の不正アクセスを防ぐことができます。

詳細については、以下の弊社ホームページをご覧ください。

⇒ <https://service.iodata.jp/solution/securityusb/software2.html>

バージョン情報の確認

「SUGate4」、「SUReset4」のバージョン情報の確認方法を説明します。

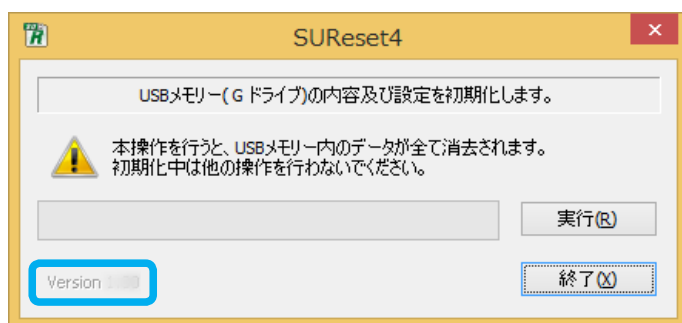
■ SUGate4

タスクトレイの SUGate4 アイコンを右クリックし、「バージョン情報」から表示できます。



■ SUReset4

SUReset4 起動時の画面に表示されます。



■ バージョンアップ等に関する情報について

バージョンアップなど「SUGate4」、「SUReset4」に関する最新の情報は、下記 Web ページをご覧ください。

●サポート Web ページ ⇒ <http://www.iodata.jp/support/>

●サポートライブラリ ⇒ <http://www.iodata.jp/lib/>

アフターサービス

本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。

■ お問い合わせについて

お問い合わせいただく前に、**以下をご確認ください**

- 本マニュアルの「困ったときには」を参照 ([33 ページ](#))
- 弊社サポートページのQ&Aを参照
- 最新のソフトウェアをダウンロード

➡ <http://www.iodata.jp/r/4676>



それでも解決できない場合は、**サポートセンターへ**

電話：050-3116-3021

※受付時間 9：00～17：00 月～金曜日（祝祭日をのぞく）

FAX：076-260-3360

インターネット：<http://www.iodata.jp/support/>

＜ご用意いただく情報＞

製品情報（製品名、シリアル番号など）、パソコンや接続機器の情報（型番、OSなど）

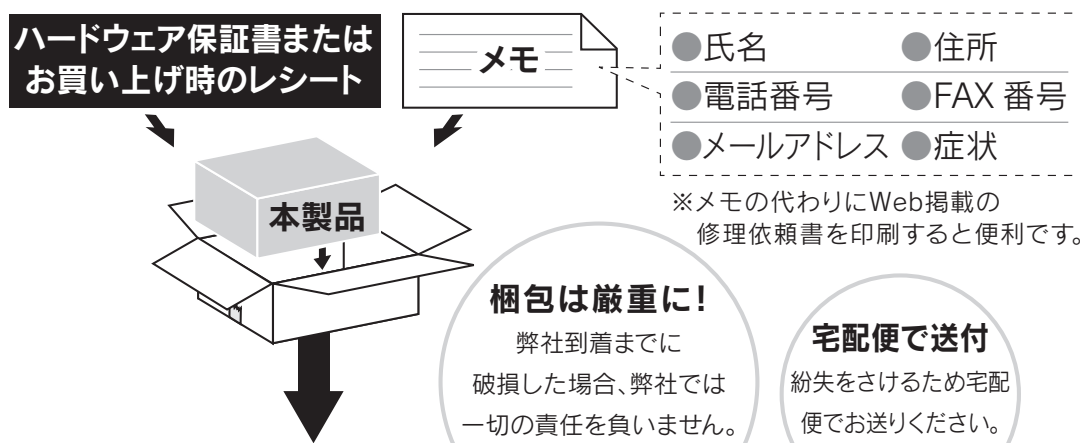
個人情報の取り扱いについて

個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器の[プライバシーポリシー](#)に基づき、適切な管理と運用をおこないます。



■ 本製品の送付について

本製品が正常に動作しなくなった場合は、以下の要領でお送りください。



〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社 アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

- 送料は、発送時はおお客様ご負担、返送時は弊社負担とさせていただきます。
- お客様が貼られたシール等は、失われる場合があります。
- 保証内容については、ハードウェア保証規定に記載されています。
- 本製品をお送りになる前に製品名とシリアル番号(S/N)を控えておいてください。

内部のデータについて

- 検査の際に、内部のデータはすべて消去されてしまいます。(厳密な検査をおこなうためです。どうぞご了承ください。)
データに関しては、弊社は一切の責任を負いかねます。バックアップできる場合は、弊社にお送りいただく前にバックアップしてください。
- 弊社ではデータの修復はおこなっておりません。

修理について詳しくは以下をご確認ください。

<http://www.iodata.jp/support/after/>



[商標について]

- TRENDMICRO、および Trend Micro USB Security は、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- 記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。